

1. 本研究は生活の根拠である家族住居内に如何なる種類の塵埃がどのように発生し、また、外部より運ばれ堆積されているか、その実態を確認するを目的として行なった。

2. 試料は農村地帯、山村地帯、石灰工業地帯、都市地帯 1. (交通量大)、都市地帯 2. (比較的閑静な住宅地) を選び、さらに家族構成上成人のみと子供のあるの二種家庭群についての塵埃を電気掃除機の紙袋に拾集したものである。処理方法としては、無菌箱様式の機密な硝子張器中でメッシュ目盛のある篩を用いて大きさを分類し、細かい物の種類わけは実態顕微鏡を用いた。

3. 次の成果を得た。全地帯集計により塵埃の大きさから分類すると <20 Mesh 17.33%, 20~50 Mesh 3.43%, 50~100 Mesh 7.11%, > 100 Mesh 72.13%。同じく種類別に分類すると綿塵 10.06%, 食物(主として澱粉性) 4.23%, 土・砂・石 3.87%, 残渣(分類しがたい微細塵埃) 72.3%が主なものである。地帯別では微細塵埃の占める比率は工業地帯で 91.04%, 農村 90.48%, 山村 85.03%, 都市地帯 62.34~60.09%, 綿塵は相反して都市 13.22~19.22%, 石灰地帯では 1%未満, 山村 2.67%, 農村 4.17%である。土砂石は交通量大な都市地帯に 4.75%に対し閑静地帯は 0.65%である。家族構成別では子供のいる家庭では土砂石 5.19%, 食物屑 6.25%に対し大人家庭では 1.71%, 3.5%で、なお、子供のいる家庭にはおはじき、クレヨンなどが検出された。